

淡い想い

福井雅人

僕達が付き合い始めた5年前の春3月

2人で観に行った桜の樹の下で

初めて腕を組んで撮った写真が

今も尚美しく麗わしい

あの時僕は

どんな言葉を君にかけてたっけ？



福井雅人

ふくい まさと

神奈川県立麻溝台高等学校卒業

明治学院大学社会学部中退

株式会社 東急ハンズ

株式会社 造事務所

相模総合補給廠

日本流通企画株式会社 等を経て現在に至る。

昭和 35 年（1960 年）生まれ

溢るる気持ち

福井雅人

今日もまた君をこの腕に抱く時

僕は一生君を愛すという気持ち確かにする

君の何げない言葉が僕を切なくする

思わず僕は君を抱き締めたくなる

幾度となく君を抱いても

君への想いは増すばかりだ

君を愛すという率直な言葉が

僕の君への全ての想いだと思う

「昨日の俺と今日の僕」 が見つけた

君と云う居場所

福井雅人

僕の居る場所はいつも俺と隣り合わせだ

僕は僕であると同時に俺でもあるのだ

昨日は自分を僕と言っていた僕が

今日は自分を俺と言う

自分の中に在る二人の人格「俺と僕」

弱気な僕と強気な俺

でもどちらも偽りの無い「俺と僕」

切っても切り離せない「俺と僕」

若い頃自我の統一を計った「俺と僕」

どちらも何ものにも換えがたい「自分自身」

あれから数十年――

君という居場所を見つけた僕は

何ものにも換えがたい

「自分」と言う確立した「自己」の中で

かけがえのない君への愛を育んでいる